（団体代表挨拶）

こんにちは。皆様、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。これから進行を務めさせていただきます、阿波市ファミリー・サポート・センター所長並びに阿波子育て支援センターあおぞらのセンター長をさせていただいております藤原智美と申します。不慣れなところもあるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

（概要説明）

それでは阿波市ファミリー・サポート・センターと阿波子育て支援センターあおぞら地域で支える助け合う子育て支援の輪 2025 年・2026 年の取り組みと課題について、報告させていただきます。前のプロジェクターに映し出しお話させていただきますが、詳しくは手元の資料等々も見ていただいてご覧ください。

これから着座にて失礼いたします。日頃は私達の活動に多くの皆様方からご支援等ご協力等いただきまして誠にありがとうございます。私たち財団の基本理念は、「いつでも・どこでも・誰でも利用できる勤労者の総合福祉」を目指すです。また、「人と人をつなぎ、こどもや大人に笑顔を」という願いを届けるのが、阿波市ファミリー・サポート・センターや阿波子育て支援センターあおぞらです。こどもの最善の利益を考えながら、子育てを助けてといえる社会、そしてこどもにとっても第 2 の家族のような、そんな場所を作りたい、そのような思いで私たちは取り組んでいます。

1. 阿波市ファミリー・サポート・センターの概要

阿波市ファミリー・サポート・センターは、2010 年 10 月 1 日に設立し、2011 年 4 月 1 日から阿波市より委託を受け、（公益財団法人）徳島県勤労者福祉ネットワークが運営しています。地域で子育ての支援をするために、依頼会員（育児の援助を受けたい人）と提供会員（育児の援助を行いたい人）が会員登録をし、地域において育児の相互援助活動を行う会員組織になっています。

今年度からは、ファミリー・サポート・センター事業に加え、子育て世帯訪問支援事業が始まりました。

１－①　ファミリー・サポート・センターの活動報告

2025 年度は阿波市ファミサポ開設 15 周年を迎え、ファミサポ同窓会や記念事業開催、お試し体験会の実施を通して、会員や地域の人たち関係機関等に感謝の意を表し、さらなる事業推進に対する支援のご協力をお願いしました。記念事業では、阿波市ファミサポの歴史を実感できる写真の掲示をし、また、人気キャラクターショーを開催し、千人近い多くの来場者に向けて、周知を図ることができました。2024 年度から阿波市の利用補助が始まり、エシカル補助金との二本立ての補助となりましたが、依頼件数は年々減少していて、特に小学生の保護者の利用が顕著に減っているのを受けて、依頼促進に特化したチラシを

作成し、市内全小学校とこども園に配布いたしました。保護者が気軽に安心して預けることができるように、具体的な情報提供を説明し、新たな依頼会員が増えるようにもしました。提供会員数もある程度で留まっているため、広報活動をより活発化させたり、地域のイベントに参加し、新参加を促し、会員増を目指しました。また、今年度は前年度の総預かり数・活動数を９月の時点で５件上回ることができました。スタッフの今までの地道な広報活動のおかげだと感じています。

１－②阿波市ファミリー・サポート・センター2026 年度の取り組みと課題

５点あるのですが、その中から次の点を報告させていただきます。

依頼会員の利用料金と交通費への補助についてです。阿波市は、依頼会員さんの１時間利用につき 200 円をエシカル補助金で補助を行っております。エシカル寄付金は、阿波市ファミサポで困っていることを、ＮＰＯ法人あわ未来創生社に相談し、依頼会員さんが支払う１時間料金 700 円のうち 200 円をエシカル寄付金で補助することを、平成 30 年度からスタートしました。阿波市ファミサポの利用補助は、提供会員さんは１時間市から 200 円の補助、依頼会員さんは１時間エシカル 200 円補助と交通費は依頼会員さんから提供会員さんに支払っている状況です。ですが、エシカル寄付金は地域の方、個人の方が善意でしていただいておりますので、エシカル寄付金を集めていただくのにも限界があると感じます。また、末永く子育て支援をしていくには、やはり行政の支援が必要になってくるのではないかと私は考えます。ですので、依頼会員さんも、提供会員さんと同じく１時間 200 円市の利用補助していただきますよう、ご検討をお願いします。

１－③阿波市ファミリー・サポート・センター2026 年度の年間行事

阿波市のファミサポは提供会員さんの活動内容に沿ったイベントや交流会を主に考えておりまして、資料の写真は、４月からこの 10 月まで行われたイベントの写真になります。.

２　阿波子育て支援センターあおぞらの概要

あおぞらは 2020 年４月６日に開設し、新型コロナウイルス感染症の影響のため、同年５月 21 日に開始いたしました。阿波市より委託を受け、（公益財団法人）徳島県勤労者福祉ネットワークが運営しております。地域子育て支援拠点事業とあおぞらの事業展開として、あおぞらの託児と免許センターの託児をしています。４つの給付基本事業内容を柱にあおぞらは運営しております。

２－①　阿波子育て支援センターあおぞらの活動報告

2025 年度は地域の人々や関係機関等との繋がりを大切に、様々な共催イベントを実施しました。むすび祭り・図書館まつりでは、あおぞらの設置場所のあわむすび周辺の各施設と連携して、市内外の多世代の人を迎えて交流することができました。あおぞら開設５周

年記念事業では、あおぞらの歴史や活動の様子を掲示板で発信し、またキャラクターショーを開催し、あおぞらについての広報を行うことで、より多くの来場者にあおぞらを知ってもらうことができました。今後も各研修等や相談会、交流会を実施したり、情報発信を積極的に行ったりし、また日常のあおぞらの時間を大切に、誰でもちょっと行ってみよう、また行ってみようと思える様な温かい居心地の良い場所を目指しました。あおぞらは 2020 年開設し、2023 年 4 月に新規登録者数 500 人、また、先月 9 月 26 日土曜日なんですが、あおぞらが誕生して、千人目のこどもたちが遊びに来てくれました。感謝の気持ちを込めてスタッフの手づくりプレゼントと感謝状を渡し、千人目の親子と記念撮影をしました。

2－②阿波子育て支援センターあおぞら 2026 年度の取り組みと課題

こちらも 5 点あるのですが、その中から次の点を報告させていただきます。

阿波市外の親子に対し週 1 回あおぞら利用解放についてです。原則としまして、あおぞらの利用は阿波市在住の親子が対象となっております。ただし、阿波市以外の親子にあっても阿波市内に在住する祖父母がいる場合は利用が可能です。

近隣の吉野川市の支援拠点施設の 1 つであるちびっ子プラザが令和 6 年 1 月 1 日より、水曜日限定で吉野川市外の方もご利用いただけるようになりました。そのことによって、吉野川市が市外ＯＫということで、阿波市からの来客・来園者数が増えているということです。阿波市土成町、吉野町の人と話したら、あおぞらに行くのが遠いということで、30 分から 40 分かかってしまうのに対して、ちびっ子プラザに行くのは橋一本で行けるので、意外と阿波市から水曜日に利用してくれる方が多くなった。水曜日限定で利用できる、できないとでは 1.5 倍ぐらい利用者数が増えたということをちびっ子プラザの所長から話を伺いました。

市外在住の親子が別の施設を週 1 回利用することには、リフレッシュや情報収集の面で多くのメリットがあると私は考えております。主なメリットとして、「保護者視点」、「こども視点」、「環境視点」の 3 つに分けてお伝えさせていただきます。

☆（1 番目）保護者視点のメリットが 3 点

・1 点目が、新鮮な子育て支援、子育て情報の獲得ということで、自分の住む自治体とは異なる行政サービスだったり、こども園、小学校の評判・評価だったり、病院関係などのリアルな口コミを現地のスタッフや保護者から情報収集ができると考えます。

・2 点目が、孤独感の解消とリフレッシュです。週 1 回、いつもと違う場所へお出かけすること自体は、生活のメリハリやリフレッシュになると考えます。

・3 点目が、アウェイだからこその話しやすさがあると思います。近所すぎないコミュニティだからこそ、近隣の人間関係を気にせず、子育ての悩みや、本音を気軽にスタッフに相談できるケースもあるかと考えます。

☆（2 番目）こども視点のメリットが 2 点

・1 点目が、新しいおもちゃや遊具で遊べる点です。普段の支援センターにはない珍しいおもちゃや広いスペースでの遊びを通じて、こどもの五感や好奇心が刺激されます。

・2 点目が、多様な人間関係の構築になります。普段とは違う地域のこどもたちや新しいスタッフと触れ合うことで、社会性やコミュニケーション力が育まれます。

☆（3 番目）環境視点のメリットが 2 点

・1 点目が、生活圏に合わせた柔軟な利用ということで、通勤ルートの途中、お気に入りの公園や商業施設の近くなど、自分たちのライフスタイルや都合に合わせて、利便性の高い場所を選べる点です。

・2 点目が、週 1 回という、ちょうどよさが毎週のルーティンにすることで、スタッフとも顔見知りになりやすく、市内であっても、第 2 の居場所として心地の良い空間を作ることができるのではないかと思います。市外の拠点を上手に組み合わせることで、子育ての選択肢と視野が広がるんではないかと私は考えます。

2－③阿波子育て支援センターあおぞら 2026 年度の年間行事

あおぞらでは栄養相談や、ママのためのリラクゼーション、親子で楽しむ季節のイベントや地域の方との交流会を主に考えております。資料の写真は、2026 年 4 月から 10 月に行ったイベントの写真になります。

(団体結び)

結びに、みんなの阿波市ファミサポとあおぞらということで、阿波市子育て支援の基本理念である「阿波っ子が　元気いっぱい笑顔で育つ　まちづくり」を念頭に置いて

・1 番目がいろんな出会いや学びを通して、親が親になっていくために、こどもたちが健やかに成長していくために、大人もこどもたちも心と体をめいっぱい動かしてわくわくキラキラしながら、楽しく遊びながら育ち合っていく場所。

・2 番目が泣いたり笑ったり怒ったり喜んだり、そんな表情豊かで笑顔に包まれる温かな場所。

・3 番が阿波市ファミサポやあおぞらに関わるすべての人たちが安心安全で居心地のいい場所。

・4 番が親子でのんびりゆったり過ごせる場所、また私たちこどもと関わる仕事が命を預かる責任のある仕事であり、同時に大人自身が成長し、気づきをもらえる仕事、こどもたちが大人って楽しそうやなあ、そう感じられるように、一緒に楽しみながら、私たちスタッフが見守りながら関わっていけたらなというふうに思っております。